

CubeSuite+ 78K0R/Lx3用シミュレータ V3.00.00 ご使用上のお願い

CubeSuite+ 78K0R/Lx3用シミュレータ V3.00.00の使用上の注意事項をご連絡します。

- ・ タイマ・アレイ・ユニット1使用時のクロック選択に関する注意事項
- ・ タイマ・アレイ・ユニット0のチャンネル5および6使用時の注意事項
- ・ 外部割り込み要求入力端子0 (INTP0) 使用時の注意事項

1. 該当製品

CubeSuite+ 78K0R/Lx3用シミュレータ V3.00.00

バージョンの確認手順：

- (1) CubeSuite+を起動し、デバッグツールとしてリストからシミュレータを選択する。
- (2) ダウンロードボタンを押して、デバッグツールへ接続する。
- (3) メニュー「ヘルプ」から「バージョン情報」を選択して、バージョン情報ダイアログボックスを開く。
- (4) 「RL78,78K0Rシミュレータ用プラグイン」の「説明」欄にある「78K0R_Lx3 Simulator」のバージョンを確認ください。

2. 内容

2.1 タイマ・アレイ・ユニット1使用時のクロック選択に関する注意事項

タイマ・アレイ・ユニット1を使用する場合、クロックをタイマ・クロック選択レジスタ1 (TPS1) によって選択できません。タイマ・クロック選択レジスタ0 (TPS0) によってタイマ・アレイ・ユニット0だけでなく、誤ってタイマ・アレイ・ユニット1のクロックも選択されます。本来、タイマ・クロック選択レジスタ1 (TPS1) によって選択されるのが正しい動作です。

2.2 タイマ・アレイ・ユニット0のチャンネル5および6使用時の注意事項

本注意事項は78K0R/LF3使用時のみ該当します。

タイマ・アレイ・ユニット0のチャンネル5または6を使用する場合、以下のいずれかのSFRへ書き込みを行うと、書き込みはできますが、実際のタイマ動作に反映されません。このため、期待するタイマ動作になりません。

該当SFR：

- タイマ・データ・レジスタ05,06(TDR05,TDR06)
- タイマ・モード・レジスタ05,06(TMR05,TMR06)

2.3 外部割り込み要求入力端子0 (INTP0) 使用時の注意事項

本注意事項はμPD78F1510A使用時のみ該当します。

外部割り込み要求入力端子0 (INTP0) へ有効エッジを入力しても割り込みが発生しません。

3. 回避策

いずれも回避策はありません。

4. 恒久対策

これらの問題は、CubeSuite+ 78K0R/Lx3用シミュレータ V3.00.01 (CubeSuite+ V1.01.00に同梱) で修正する予定です。
シミュレータV3.00.01 は2011年11月末リリース予定です。

[免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。
ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。